



避難所・宮戸小学校



避難所・市コミュニティセンター



避難所・市コミュニティセンター



避難所・赤井地区体育館



福祉避難所・老人福祉センター



避難所・矢本第二中学校



避難所・野蒜小学校



避難所・小野市民センター

支援物資の管理と供給

支援物資については、発災後3日目から届き始めましたが、震災発生から約1か月は電気および電話が完全に復旧しておらず、外部との連絡手段が遮断されていたため、「トラックが到着時に初めて支援物資が送られてきたことを知る」状態での受け入れが続きました。

■支援物資の対応

	発災後1か月まで	その後
受入	支援物資がいつ、どれだけの量が届くのか分からず24時間体制の受け入れ作業が続いた。	必要物品の確認調整を行いながら、効率的な受け入れにシフト。
管理	管理体制が一元化されておらず、一時保管場所も点在していた。	物資管理体制を一元化し管理場所も市民体育館敷地内に集約。WFP(国連世界食糧計画)より大型テント8基提供され保管庫として活用。
配給	避難所毎に按分して届けていたが、毎日全ての品目が不足している状態。 在宅避難者向けに路上での物資配給を行ったが公平に行き渡らなかった。	在庫管理をしながら公平に物資が行き渡るように工夫。 避難所および在宅避難者ともに配給カード記録で公平性を確保した。
配送など	①市役所での受け取り ②公用車および自衛隊車両での配送	①公用車での配送 ②宅配業者へ委託 ③市民体育館での受け取り

■主な支援物資一時保管場所

- ①東松島市民体育館 ②大塩地区体育館 ③旧大塩公民館 ④(株)石巻青果 ⑤奥洲物産運輸(株) ⑥JAいしのみきカンントリーエレベーター ⑦東松島市矢本学校給食センター ⑧航空自衛隊松島基地 ⑨東松島市コミュニティセンター ⑩(株)ミツワ紙工所

■物資保管量

時期	数量	対応など
震災発生直後	700t	震災当時全国からの物資が寄せられる
平成23年8月	400t	避難所への物資配給など行う
平成23年12月	250t	避難所閉鎖後はイベントなどでの配布
平成24年6月以降	95t	防災に向けた備蓄等に充てる

■配送車両状況

・宅配業者による避難所への食糧配送業務は、避難所が閉鎖を迎える2011年(平成23年)8月末まで続けられ、使用車両はのべ200台を超えました。また、その後、避難所閉鎖や復興イベントの支援など多岐に渡る車両支援も含めると300台を超えました。

■在宅避難者および全市民向け物資配給 〈2011年(平成23年)8月以降の対応〉

・復興イベントなどの際に市民に物資の引き渡し機会を設け、また数か月に一度、これまで届けられた支援物資の配給を市報などに記載し、公平公正な抽選のうえ引き渡しを行いました。



避難所への物資配送



避難所向けの給食を調理